

## 4. 火災の実態

### 1. 火災の概要

平成27年中の火災は、出火件数2,005件、損害額10,839,717千円、死者数87人、建物焼損床面積38,815㎡、建物焼損表面積3,805㎡、林野焼損面積788a、焼損棟数1,517棟、り災世帯数909世帯、り災人員2,080人となった。前年と比較した火災の状況は次のとおりである。

なお、平成27年中の火災の発生を一日当たりで見ると、出火件数約5.5件、損害額約29,698千円、死者数約0.2人、建物焼損床面積約106.3㎡、建物焼損表面積約10.4㎡、林野焼損面積約2.2a、焼損棟数約4.2棟、り災世帯数約2.5世帯、り災人員約5.7人である。

区 分	平成27年 ①	平成26年 ②	対前年増減数 ③ = ① - ②	増減率 $\frac{③}{②} \times 100$ (%)
出火件数	2,005	2,242	-237	-10.6
建物火災	1,028	1,090	-62	-5.7
林野火災	65	93	-28	-30.1
車両火災	191	185	6	3.2
船舶火災	4	4	0	—
航空機火災	1	0	1	—
その他火災	716	870	-154	-17.7
焼損棟数	1,517	1,621	-104	-6.4
り災世帯数	909	959	-50	-5.2
り災人員(人)	2,080	2,247	-167	-7.4
焼損面積				
建物床面積(㎡)	38,815	46,261	-7,446	-16.1
建物表面積(㎡)	3,805	3,254	551	16.9
林野(a)	788	656	132	20.1
損害額(千円)	10,839,717	4,165,588	6,674,129	160.2
建物火災	10,109,140	3,834,747	6,274,393	163.6
林野火災	866	464	402	86.6
車両火災	93,068	111,407	-18,339	-16.5
船舶火災	78,617	55,733	22,884	41.1
航空機火災	319,243	0	319,243	—
その他火災	215,699	150,917	64,782	42.9
爆発火災	23,084	12,320	10,764	87.4
死者(人)	87	71	16	22.5
負傷者(人)	307	370	-63	-17.0

(注) ア 建物火災とは、建物又はその収容物が焼損した火災をいう。

イ 林野火災とは、森林、原野又は牧野が焼損した火災をいう。

ウ 車両火災とは、原動機によって運行することができる車両及び被けん引車又はこれらの積載物が焼損した火災をいう。

- エ 船舶火災とは、船舶又はその積載物が焼損した火災をいう。
- オ 航空機火災とは、航空機又はその積載物が焼損した火災をいう。
- カ その他の火災とは、アからオまでに掲げる火災以外の火災をいう。

## 2. 出火件数

(1) 総出火件数は、2,005件で前年と比べて237件減少している。これを火災種別で見ると、次のとおりである。

種別 年	総出火件数	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他
平成27年	2,005件 (100.0%)	1,028件 (51.3%)	65件 (3.2%)	191件 (9.5%)	4件 (0.2%)	1件 (0.0%)	716件 (35.7%)
平成26年	2,242件 (100.0%)	1,090件 (48.6%)	93件 (4.1%)	185件 (8.3%)	4件 (0.2%)	0件 (0.0%)	870件 (38.8%)

## (2) 月別出火件数

月別出火件数は、次のとおりである。火災は、1月から4月にかけて多く発生する傾向がある。

月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
出火件数	232	209	233	154	197	116	134	153	127	165	125	160	2,005

## (3) 出火率

出火率（人口1万人当たりの出火件数）は、県平均約3.21件となっている。

## 3. 損害額

火災による損害額は10,839,717千円で、前年比6,674,129千円（160.2%）増加した。また、1日当たりでは約29,698千円（前年約11,413千円）、1件当たりでは約5,406千円（前年約1,858千円）となっている。

## 4. 出火原因

出火原因別火災発生件数は、次のとおりである。これは例年と同様の傾向である。

総出火件数	放火・放火の疑い	たばこ	こんろ	たき火	火遊び	その他
2,005件 (100.0%)	399件 (19.9%)	207件 (10.3%)	145件 (7.2%)	148件 (7.4%)	42件 (2.1%)	1,064件 (53.1%)

※その他には、上記以外の出火原因21区分及び不明・調査中を含む

## 5. 死傷者の実態

### (1) 死傷者数

火災による死者は87人、負傷者は307人で、前年に比べて死者は16人増加（前年比22.5%増）し、負傷者は63人減少（前年比17.0%減）した。

### (2) 火災種別にみる死傷者数

火災種別ごとの死傷者発生状況は、次のとおりである。

火災種別	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	合計
死者数	63 (72.4%)	0 (0.0%)	4 (4.6%)	2 (2.3%)	0 (0.0%)	18 (20.7%)	87 (100.0%)
負傷者数	263 (85.7%)	4 (1.3%)	10 (3.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	30 (9.8%)	307 (100.0%)

(3) 月別の死傷者数

月別死傷者数は、次のとおりである。死傷者は、12月から4月にかけて多く発生する傾向がある。

月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
死者数	11	12	10	10	9	1	5	9	0	5	10	5	87
負傷者数	30	32	27	34	27	21	19	25	18	18	15	41	307

(4) 年齢層別の死者数

年齢層別死者数は次のとおりであり、61歳以上が全体の6割以上を占めている。

区分	0歳～ 20歳	21歳～ 30歳	31歳～ 40歳	41歳～ 50歳	51歳～ 60歳	61歳～ 70歳	71歳 以上	不明	合計
死者数	0 0%	3 3.4%	9 10.3%	10 11.5%	14 16.1%	18 20.7%	33 37.9%	0 0%	87 100.0%

(5) 死因別死者数

死因別死者数は次のとおりであり、死者は、一酸化炭素中毒・窒息で多く死亡している。

区分	一酸化炭素 中毒・窒息	火傷	打撲・骨折等	自殺	その他・不明	合計
死者数	25 28.7%	20 23.0%	0 0.0%	30 34.5%	12 13.8%	87 100.0%